

## 義務教育学校の設置に関する検討委員会だより ①

高谷中学校ブロック 義務教育学校の設置に関する検討委員会

市川市では、「学び」と「育ち」の連続性を大切にした教育を進めるため、小中一貫教育の実施を目的とする義務教育学校の設置を推進しており、平成28年度に義務教育学校となった「塩浜学園」では、児童生徒の成長や教職員の指導面で高い効果が見られています。

このことから、小学校、中学校ともに、学校規模や通学区域などの条件が整う高谷中学校ブロック（高谷中学校・二俣小学校・信篤小学校）及び東国分中学校ブロック（東国分中学校・稲越小学校・曾谷小学校）を対象候補として、義務教育学校の設置に関する検討をはじめました。

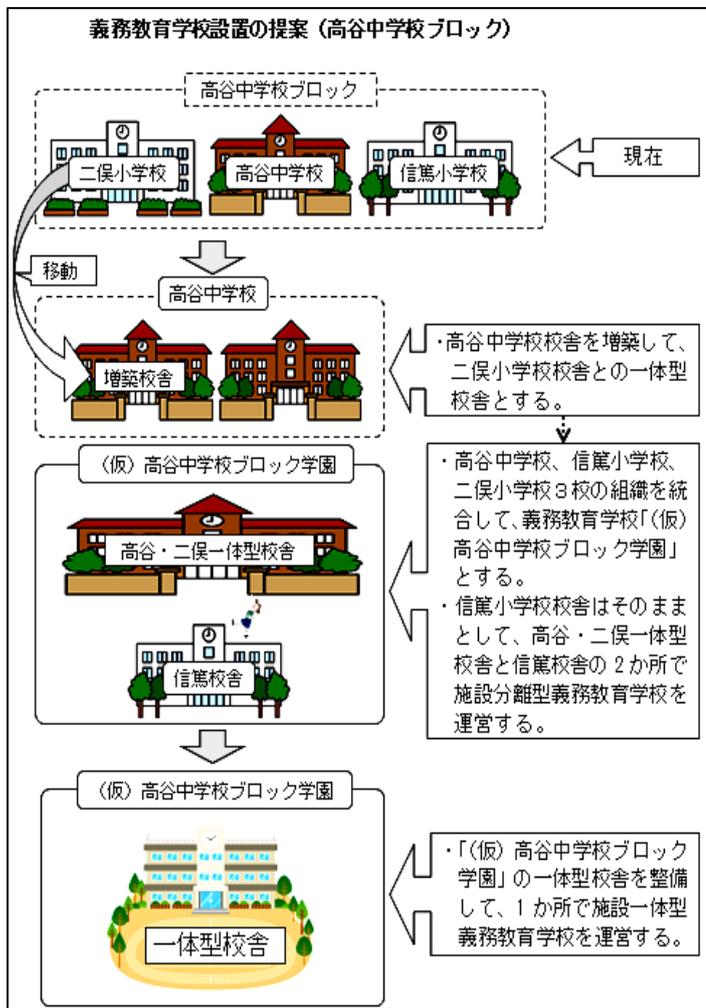
検討は、各学校の学校運営協議会の代表で構成する「義務教育学校の設置に関する検討委員会」で進めてまいります。1月23日（木）に第1回検討委員会が開催されましたので、概要をお知らせいたします。

- 1 日 時 令和2年1月23日（木） 17時00分～18時30分
- 2 会 場 市川市立高谷中学校
- 3 構 成
  - ・委員長：大学教授
  - （19名）
  - ・委員：各学校（高谷中・信篤小・二俣小）の学校運営協議会代表
- 4 内 容
  - （1）報告 ・義務教育学校の設置に関する検討委員会について
  - （2）協議
    - ・義務教育学校の設置に関する提案について
    - ・小中一貫教育及び義務教育学校について
    - ・義務教育学校設置に係る課題の把握について

### 5 協議の概要

○1回目は、主に小中一貫教育や義務教育学校について、検討委員会全体で共通理解をいたしました。

#### （1）義務教育学校設置の提案



#### （2）提案の理由

##### 【理由1：小中一貫教育の推進】

- 教育基本法及び学校教育法では、義務教育の目的・目標が定められており、義務教育9年間で児童生徒を育成するという考え方に立って教育が行われています。
- 子どもたちの抽象的な思考力が高まる小学校高学年において、教科担任制の導入等による専科指導の拡充が必要となっています。
- 児童生徒の心身発達が早期化しており、従来であれば中学校段階の指導の特質とされてきたものを、一定程度小学校段階から導入することが必要となっています。
- 新しい環境での学習や生活に移行する中学校進学時に、不登校や生徒指導上の諸問題につながる「中1ギャップ」への対応が求められています。

##### 【理由2：義務教育学校の学校施設】

- 「義務教育学校等の施設計画の推進に関する調査研究（国立教育政策研究所 平成30年）」では、一体型校舎の有効性が明らかになっています。
- このため、学校施設については、一体型校舎において連続性を大切に教育を行うことが重要です。しかし、学校や地域の状況に応じて、当面は、隣接型又は分離型で運営することも考えられます。

施設形態の区分



### 【理由3：義務教育学校の特色（教育課程）】

- 義務教育学校は小中一貫教育の実施を目的とする学校です。修業年限は9年です。
- 小学校段階を前期課程、中学校段階を後期課程に区分しますが、9年間で「4年－3年－2年」など「学年段階の区切り」を柔軟に設定して、発達段階に合わせた指導及び活動を行うことができます。
- 教育課程の特例を市の判断で定めることができるため、子どもの発達段階に即したカリキュラム編成を柔軟に行うことができます。
  - ・質の高い学びを創造する新教科を創設することができます。
  - ・学年及び小・中学校段階の指導内容の入れ替えや移行などを行うことができるため、中学校の指導内容を小学校段階で指導することなどが可能となります。
  - ・小学校低学年からの系統的な学習（外国語教育など）が可能となります。
- 小学校高学年段階からの教科担任制を継続的に実施することができます。

### （3）協議の概要（○：委員長及び委員 ●：事務局）

- 塩浜学園は専科教員と学級担任の2人で授業を見ているとありますが、なぜ2人配置できるのですか。2人で授業を見れば、当然学力も向上し、自己肯定感も上がってくると思います。
- 2人の教員は中学校の教員と小学校の教員です。中学校の教員と小学校の教員と一緒に授業をすることによって、子供の「わかる」が伸びていきます。義務教育学校はそのことが可能になります。
- 一貫校については悪くはないと思っています。ただ、先生方の考え方と私たちの考え方は全く別物です。教育のことは先生方にお任せするしかない。私たちは地域のこと、特に母親たちが抱える問題を解決しないうちは進めていけないと思っています。是非、今後子供達の安全面をどうやってクリアしていくかということのを第一として考えて頂きたいです。
- 1つの中学校と2つの小学校が一緒になるような事例はあるのですか。同一敷地内はあるかも知れませんが、信篤小学校は別の敷地です。全国的にこういう事例はあるのか、教えていただきたい。また3校の将来の児童生徒数を教えてほしい。
- 児童生徒数の推計値については、次回お示しします。義務教育学校の制度化は、国が押し進めたというよりも全国の学校や自治体での小中一貫教育の取組を踏まえて制度化された面が強いです。今の6-3制では解決できない問題に対応するために、小中一貫教育の取組が進んでいます。分離型校舎での運営については、しっかりと研究していきたいと思っています。実際の事例などは、次回に資料を用意させていただきます。
- 京都の御池中学校は離れたところにある御所南小学校・高倉小学校と小中一貫教育を進めていますが、5,6年生は御池中学に行きます。中学に教室があります。地域全体が学校の支えとなっています。今では一貫校があるために学区に人口流入が起きて、マンションができた時には、マンションのチラシに「御池中学の学区です」ということが載るようになってきました。教科の学力だけでなく、義務教育学校として必要な核となるものがあります。
- 中学校の先生がとても大変なのではないでしょうか。中学校の先生が一回一回高谷中学校から信篤小学校まで行かないといけないのは大変だと思います。
- そのことは、これから検討することです。義務教育学校を進めるからにはやらなければならないことがたくさんあります。やるためにどうしたら良いか、ということがポイントになってくると思います。
- 高谷中と二俣小であれば効果が期待できるのでしょうか、クラス数の多い信篤小が入ってくると教育効果は期待できないのではないのでしょうか。
- そこはデータも何もないので結論には至らないと思います。そういった疑問を解決しながら進めていきましょう。
- 今後市川市は、一貫校を増やしていく予定でいるのでしょうか。
- 義務教育学校の設置に関する方針に示した通りです。
- 次回に児童生徒数の推計を示してくれるとのことですが、信篤・二俣地区はまだ区画整理のできていない空き地もたくさんあります。これからマンション等が建った場合を把握しての児童生徒数なのかどうか。地域住民としての不安もあるので、そこを踏まえて人数を出してほしいと思います。
- 信篤二俣地区で小中一貫教育を進めるという方針なのでしょうか。
- その提案の段階です。先ほどのご発言の通り、課題の解決の見通しが立たなければ進められないと認識しています。課題解決の見通しを皆さんと話し合っていきたいと思っています。
- 二俣小学校が高谷中に来ると認識していますが、信篤小学校がそのままではいけないと思うので、いずれは信篤小学校も含めた新校舎での教育体制が必要となってくると思います。であれば、何年まではこうするといったことが必要になってくると思います。
- 学校をつくるには補助金が必要になってきますが、信篤小学校の分まで含めて補助金を申請するのでしょうか。今回の方針は分かりましたが、市の基本計画の中にどのように位置づけられているのか、詳しく教えてください。
- 次に検討するか、あるいは市の考え方を示していくという時間を設けながら話を進めていきたいと思っています。

### （4）義務教育学校設置に係る課題の把握

- 児童生徒アンケート及び保護者アンケートを実施し、課題の把握につなげてまいります。

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部義務教育課 学校安全安心対策担当室

Tel：047-704-0062/Fax：047-383-9263